

令和7年1月14日

保護者の皆様

豊川市立金屋中学校
校長 田中 基明

第2回 「『生き生き笑顔の金中生』を目指すアンケート」結果のお知らせ

日頃から本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施いたしました「『生き生き笑顔の金中生』を目指すアンケート」の結果がまとまりましたので、ここにお知らせいたします。本校としましては、この結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

12月に行ったアンケート調査で重点目標として掲げた項目についての検証と、今後の課題については、以下に示すとおりです。「%」の数値は、各設問に対してプラスの考え「そう思う・ややそう思う」を合わせたものになっています。全般的により傾向がみられるものの、どの項目についても一部に課題がみられました。

《2学期の重点目標》

※数値は第1回(7月)のものです。比較対象として昨年度第2回(12月)を用いています。小数点以下は四捨五入しています。

◎設問⑫「自分のことを「なかなかいい」と思うことができますか」

1年生 70% (5Pアップ↑)	2年生 67% (1Pダウン↓)
3年生 75% (11Pアップ↑)	全校 71% (5Pアップ↑)

全校で71% (5Pアップ↑) という結果となりました。少しずつではありますが、自分自身を肯定的に捉えることができる生徒が増えていることがわかります。学年別に見ると、1・3年生は前回のポイントを上回っていますが、2年生ではあまり変化していません。今後も、学校生活を通して、生徒の一人一人のよさを認め、自己肯定感をより高めていきたいと思います。

◎設問⑲「悩んだり、困ったりしたことがあると、先生たちに相談することができますか。」

1年生 55% (3Pダウン↓)	2年生 67% (10Pアップ↑)
3年生 67% (9Pアップ↑)	全校 63% (5Pアップ↑)

全校では63% (5Pアップ↑) と、前回のポイントを少し上回りました。学年別に見ると、2・3年生では前回のポイントを大きく上回りましたが、1年生では前回のポイントを少し下回りました。また、学年が上がるにつれて、ポイントが上昇していることがわかります。この結果は、学年が上がるにつれて、生徒と教師との信頼関係が深まっていることが要因だと考えられます。しかし、どの学年においても決して高いポイントではありません。今後も、教育相談等を通して、生徒がより相談しやすい環境を築いていきたいと思います。

《3学期以降の重点目標》

以下の2点について、3学期以降の重点目標に設定し、改善を図るための取り組みを進めていきます。

・設問⑫「自分のことを「なかなかいい」と思うことができますか」

＜取組＞ 日常の学校生活や授業等を通して、生徒の善行や努力を積極的に認めていくことで、自己肯定感を高めていく。

・設問⑲「悩んだり、困ったりしたことがあると、先生たちに相談することができますか。」

＜取組＞ 教師と生徒との対話を増やしていき信頼関係を深めていくことで、悩んだり困ったりしたときに相談できる関係を築いていく。

なお、アンケート全体の結果については、本校ホームページに掲載してあります。そちらもご参照ください。